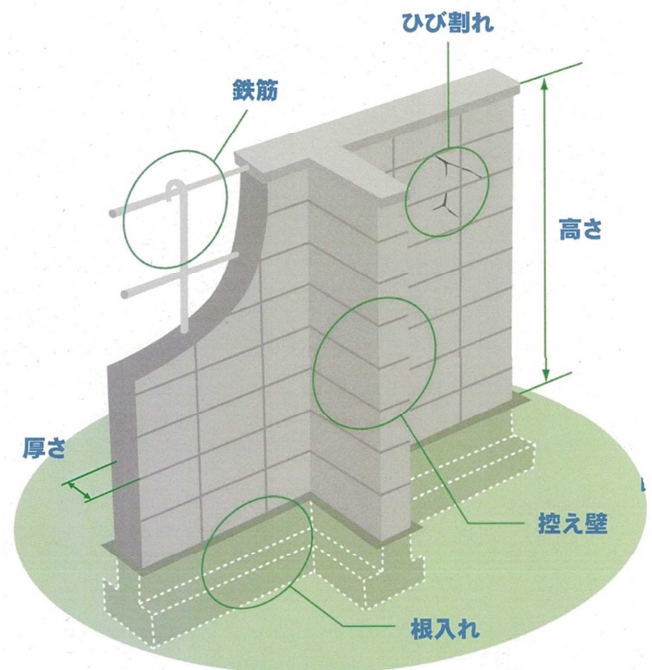


## ■ブロック塀の点検のチェックポイント

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか**
  - ・塀の高さは地盤から 2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か**
  - ・塀の厚さは 10cm 以上か。(塀の高さが 2m超 2.2m 以下の場合は 15cm 以上)
- 3. 控え壁はあるか。(塀の高さが 1.2m超の場合)**
  - ・塀の長さ 3.4m以下ごとに、塀の高さの 1/5 以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか**
  - ・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か**
  - ・塀に傾き、ひび割れはないか。



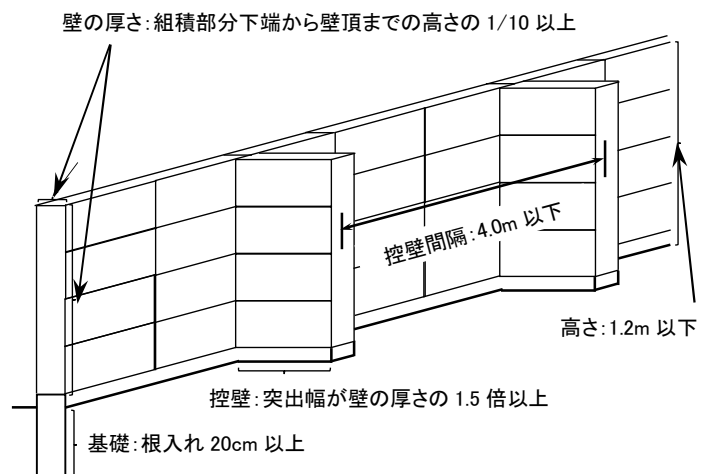
<専門家に相談しましょう>

- 6. 塀に鉄筋が入っているか**
  - ・塀の中に直径 9 mm 以上の鉄筋が、縦横とも 80cm 間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
  - ・基礎の根入れ深さは 30cm 以上か。(塀の高さが 1.2m超の場合)

出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013. 1 より一部改

## ■組積造のへい 点検のチェックポイント

- 1. 高さは 1.2m以下**である。
- 2. 壁の厚さは、組積部分下端から壁頂までの高さの 10分の1以上**である。
- 3. 長さ 4m以下ごとに、壁面からその部分の壁の厚さの 1.5倍以上突出した控え壁**がある。(【2】の基準の壁の厚さが 1.5倍以上ある場合、控え壁がなくても【3】はチェックしてください。)
- 4. 基礎の根入れ深さ(地中部分の深さ)が 20cm以上**ある。
- 5. 著しいひび割れ、破損又は傾斜がない。**(ぐらつき、傾斜がない。ブロックのずれがない。)



※上記チェックリスト全てにチェックがされたものが、安全な塀です。

※1つでもチェックが入らない項目があれば、補強等の改善が必要です。